



林 声

2016

3 月号



岡山県では、県民の皆様には森林や林業への関心を深めていただくため、平成27年7月から12月まで、「おかやまの森フォトコンテスト ～人と森林・木材との関わり」をテーマとして写真を募集しました。表紙は、最優秀賞（岡山県知事賞）に入賞した「みんなでつくる木のベンチ」（備前市の竹田俊亮さんによる作品）です。（続きは14ページ）

目 次

岡山・森林列伝	
（美作東備森林組合 備前・赤磐支所のみなさん）	2
がんばる認定事業体（森淵林業）	3
普及指導区の情報（倉敷支部）	4
普及情報（学校教育における「木育」）	5
林業労働施策の紹介	6～7
研究だより	8
山火事予防月間のお知らせ	9
技能講習会開催のお知らせ	10

林産物市況	11
事務局からのお知らせ	13
おかやまの森フォトコンテスト受賞作品の紹介	14



岡山県マスコット
（ももち）

岡山・森林列伝
〔東備普及指導区〕

一 はじめに

今回は、当普及指導区内で森林整備の中心的な役割を担っている美作東備森林組合備前支所、赤磐支所で働くみなさんを紹介します。



右から平井さん、阿江さん、景山さん、森本さん、藤本さん

二 備前支所、赤磐支所

平成24年4月1日に業務の合理化等を図るために備前市森林組合と赤磐市森林組合が美作森林組合と合併し美作東備森林組合となりました。合併後は美作東備森林組合の備前支所、赤磐支所として、備前市、赤磐市、和気町を中心に

業務を行っています。

三 支所で働くみなさん

○平井修二さん（支所長）

赤磐市出身の52歳、今年で29年目のベテランです。現場管理はもとより書類作成や時には現場作業まで、組合業務の全般をこなされます。「周囲の皆様を支えられていることに感謝しながら、森林所有者の期待に応えられるよう目の前にあることを少しずつでも前向きに取り組むようにしている。」と話されています。自らが手がけた森林が健全に育ち美しい里山となった姿を見るのが夢だそうです。また、年齢、性別、職種を問わず楽しめるゴルフが趣味だそうです。

○藤本清美さん（事務員）

平成18年に旧備前市森林組合に就職し、今年で10年目。森林組合に就職するまでは山とは無縁だったそうですが、今では測量図の作成や写真整理なども行い、時には現場にも出られるそうです。「森林所有者の山離れが少しでもなくなるお手伝いが出来れば・・・」と話されています。将来はいろいろな所を旅して自然の生み出す風景を見て回るのが夢だそうです。

○森本善明さん（フォレストラー）

新見市出身の笑顔が素敵な33歳、森林組合は4年目ですが、民間の林業会社での経験があり、作業班の班長を勤められています。また、自然が好きで北海道に住んで自然に携わる仕事をされていたこともあるそうです。「仕事は、多少手間がかかっても、山主さんと仕事を段取りしてくれた支所長に喜んでもらえるように心がけている。」と話されています。趣味は読書で時代小説をよく読まれるそうです。

○景山聡宣さん（フォレストラー）

岡山市出身の男前の38歳、森林組合は4年目。今まで、営業などの仕事を行っていましたが、街中の仕事に疲れ、自然の中で働ける森林組合のフォレストラーに転職されたそうです。「来たときよりも綺麗に、山主さんに仕事を任せて良かったと言ってもらえるようになっていく。」と話されていました。休日には3人のお子さんと遊ぶのが楽しみな良きパパでもあります。

○阿江祐司さん（フォレストラー）

京都府出身のクールな35歳、森林組合は3年目で、自然の中で仕事をしたく、20日間の林業就業支援講習を受講後に森林組合に就職

されたそうです。「安全第一で怪我をしない、させないように、次につながる仕事に心がけています。」と話されていました。また、道具の手入れが得意なので、みんなから機械の調整などをよく頼まれるそうです。将来は自給自足の生活を夢見ておられます。

四 おわりに

今回の投稿にあたり、備前支所で取材させて頂きましたが、皆さんとても仲が良く、こちらの問いかけにも気さくに色々な話をしてくださいました。その中で特に印象的だったのは、皆さんが口を揃えて「安全第一で、山主さんに喜んでもらう仕事をしている。」と話されていることでした。職場で仕事に対する意識の共有がしっかりと出来ているのを感じました。

昨今、岡山の林業は県北部ばかりが目立っていますが、美作東備森林組合は地道に県南東部の森林を守り育てています。

当普及指導区として、これからも益々活躍して頂けるよう支援をしていきたいと考えています。

（林業普及指導員 平見正則）

特集

がんばる認定事業者

株式会社森淵林業の紹介

【津山普及指導区】

一 はじめに

株式会社森淵林業は、津山市野介代に事務所を置き、津山・勝英地域を中心に素材生産・架線工事設計施工を手がけています。

代表取締役の森淵百合明氏（48歳）から活動内容や今後の展望について話を伺いました。



取材を受ける森淵社長

二 (株)森淵林業の概要

(株)森淵林業は平成10年9月に設立され、平成25年4月に株式会社組織変更されました。

現在、現場作業員5名、臨時事務員1名及び間伐コーディネーター1名で業務に取り組んでおり、現場作業員の平均年齢は約34歳と若手中心に意欲的に活動しています。

三 事業活動の状況

森林整備については、公社造林地を中心に取り組んでおり、年間の事業量は皆伐2畝、搬出間伐15畝、森林作業道整備3,000m²、2,500立方mの素材生産を行っています。

私有林においては、森林組合と連携して施業の団地化を図り、搬出間伐を実施しています。

作業システムは、ザウルスロボによる路網開設、チェーンソーによる伐倒、ウインチ付きグラブによる集材、プロセスサによる造材、2トダンプによる搬出を主体としています。また、森林作業道の開設が困難である急峻な山林においては、自走式搬器を用いた架線集材も行っています。



集材機設置の様子

四 特徴的な取組

森淵林業では、現場着手前に収益を見積もり、着手後は随時、作業日報から実際の収支を計算しています。計算結果は現場作業員全員と共有し、作業工程や作業効率の改善に役立っています。

また、森淵氏は岡山県の森林作業道作設オペレーター指導者育成研修の講師としても活躍されており、社内でも勉強会を開催し、長期間使用できる道づくりを目指して人材育成を行っています。



社内における作業道作設勉強会

五 今後の事業展望

今後の展望を尋ねたところ、次の3点を挙げられました。

1点目は、生産性の向上です。私有林においては、コストを抑えた施業提案が森林整備の推進に繋がることから、平成28年の春に小型ハーベスタを導入し、さらなる作業効率の向上を目指します。

2点目は、架線集材技術の伝承です。森淵氏は、研修会等を通じて全国の技術者に対して技術指導をしており、今後も技術が絶えないように努めていきます。

3点目は、私有林の森林整備の推進です。現在は、公社造林地を中心に森林整備を行っています。が、森林経営計画の策定も視野に入れ、森林所有者へ施業提案を行い、活動範囲を広げていく方針です。

六 おわりに

取材中、森淵氏は「山主さんのために」という言葉を何度も口にされました。山主目線で活動される森淵林業の益々のご活躍に期待し、今後も活動への支援を行いたいと思います。

(津山普及指導区 茅原聡人)

平成27年度からは、おかやま元気な森づくり推進事業を活用して雇用した間伐コーディネーターが森林所有者と森林を踏査し、施業提案や補助制度の説明等を行い、施業の集約化を図っています。

倉敷市立蘭小学校
「真備町菌みどりの少年隊」
の活動
〔倉敷普及指導区〕

一 はじめに
 倉敷普及指導区では、学校単位で結成されたみどりの少年隊3隊が活動しています。
 その中、学校外での活動に積極的に取り組んでいる県下でも数少ない少年隊、「真備町菌みどりの少年隊」を紹介します。

二 隊の概要

真備町菌みどりの少年隊は、真備美しい森のオープンに併せて、平成12年4月に結成され、現在、倉敷市立蘭小学校の4、6年生の入隊希望者28名により構成されています。

学校単位で結成された少年隊は、学校と学校の周辺地域に限定された学校活動となりがちですが、本隊は、地元倉敷市真備町で設計事務所を営んでいる浅野達朗氏が結成時から代表者を務めており、事務局の藤原教頭先生と隊員の保護者の協力を得ながら、積極的に隊の活動を進めています。

これにより、本少年隊は、学校外で開催される各種行事に参加す

るなど、多様な活動が可能となっています。

三 隊の活動

真備町菌みどりの少年隊の平成27年度の主な活動を紹介します。



緑の募金街頭募金 (H27.5.5)

① 岡山県緑化推進協会備中支部が実施した「緑の募金街頭募金」に、隊員10名、指導者7名が参加しました。

5月5日に「真備美しい森」で開催された「こいのぼりフェスタ」の会場で、林業普及指導員による「森林・林業教室」の後、街頭募金を行いました。

隊員になって初めての活動であり、保護者を含めて緑の大切さを再認識する場となっています。

② 8月21、22日に「青少年教育センター閑谷学校」で開催された「みどりの少年隊交流集会」に、隊員を含む児童31名、指導者5名が参加しました。

1泊2日の宿泊研修を通して、豊かな緑に触れ合うとともに、他地域のみどりの少年隊との交流を深めました。



みどりの少年隊交流集会 (H27.8.21 ~ 22)

③ 10月17日に「ふるさとかもがたプラザ(ビッグハット)」

で開催された「みどりの大会2015」に、隊員17名、指導者・保護者9名が参加しました。

隊員が保護者と一緒に参加して、緑の大切さを学ぶ場となっています。

④ 12月20日に「真備美しい森」で、隊員を含む児童15名、指導者・保護者11名が参加して、「ミニ門松づくり」を開催しました。

タケノコの産地倉敷市真備町で身近な存在である竹林から、隊員が保護者と協力して竹を切り出し、ミニ門松を作りました。隊員・保護者がふるさとの自然を知る機会となっています。



ミニ門松づくり (H.27.12.20)

四 おわりに

当普及指導区では、真備町菌みどりの少年隊をはじめ、各少年隊が次代を担う子供たちが緑の必要性や重要性を認識できる活動を、今後も継続・発展できるように支援していきたくと考えています。

(林業普及指導員 下境 一郎)

普及情報
学校教育における「木育」



一 「木育（もくいく）」って？

「木育」をみなさんご存じでしょうか？最近、よく耳にする言葉だと思います。

木育は、平成16年度に、北海道で生まれた新しい言葉です。「木育とは、子どもをはじめとするすべての人が『木とふれあい、木に学び、木と生きる』取組です。それは、子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むことです。」と基本理念が示されています。

また、国の森林・林業に関する各種施策の基本的な方向を明らかにした「森林・林業基本計画」においても、「国民生活に必要な物資としての木の良さやその利用の意義を学ぶ活動である「木育」等を推進する。」と木育の推進が明記されています。

この木育を推進しようと、「全国木育サミット」や「ウッドスタート」、「木育キャラバン」など全国的に展開されている運動も始まっています。

本県においても、以前から各地

域で、各種団体による木育と考えられる森林・林業教室や木工教室等が開催されています。

二 学校教育における「木育」

木育の対象は、赤ちゃんから大人まで幅広い世代であることから、今まで実施してきた木工教室を含めた学校教育も木育の1つとして考えられます。そこで、今回は学校教育として県が実施した木工教室について、今後の展開方法等を考察してみました。

★県が行った木工教室

県民局等が実施した木工教室の事例を集めました。

その結果、①木工教室にかける時間は約2時間弱、②木工教室を開催できているのは小規模な小学校、③キットを持ち込んで組み立



丸太の重さを確認する児童達

てる内容が多い、④森林の役割等の説明を導入部分に行っていることがわかりました。

一方、ヒノキと米松の香りの違いや、製材品と同じ重さに丸太を切るゲームなど木材の特性を生かした工夫も見られました。

★浮かび上がった問題

問題点としては、①学校から与えられた時間内でやりきるイベント的な開催になっていて、②指導するスタッフの数と時間の関係から小規模な学校となる、③道具をあまり利用しないキットの組み立てが中心となる、④その後の授業での展開が期待できにくい、ことなどが考えられます。

★問題解決に向けて

出来るだけ多くの学校に継続して木育を推進するためには、授業を行う先生の理解と行動が欠かせません。

そこで、重要なのは文部科学省の指導要領に沿った提案することです。例えば次表は小学校の図画工作で求められている発達段階と学習内容ですが、これを意識した内容で提案すれば、授業で取り込む位置付けが明確になります。

また、木育に関連する授業の部分と外部の者が行う部分との役割分担を提案すれば、授業での継続

的な取り組みに発展していきます。同様に、理科や社会の指導要領に沿った提案を行えば、ますます木育の幅が広がっていきます。

	第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年
内容	・自然物、材料の形や色から、思い付いてつくる ・感覚、気持ちを生かし、楽しくつくる ・並べたり、つないだり、積んだり、体全体を動かしてつくる	・材料や場所を基に発想 ・新しい形をつくる、形から発想 ・みんなで話し合っつくる ・組み合わせたり、切っつないだり、形を変えたりする ・などしてつくる ・用途を考え、計画を立てる	・材料や場所の特徴を基に発想、想像力を働かせてつくる ・材料や場所などに進んでかかわり合い、周囲の様子を考え合わせる ・用途、表現に適した方法を組み合わせる ・経験や技能を総合的に生かしてつくる
材料や用具	土、粘土、木、紙、クレヨン、パス、はさみ、のり、簡単な小刀など身近で扱いやすいもの	木ぎれ、板材、釘、水彩絵の具、小刀、使いやすいのこぎり、金づちなど	針金、糸のこぎり など
取り扱い	十分に慣れることができる	適切に扱うことができる	表現方法に応じて活用できる

図画工作の指導要領整理表 岡山大学山本和史准教授作成

三 おわりに

ある木育の報告書に、「私自身、普段から森林には接していたが、子供の頃から木材に触れる機会が少なかったため、木材に対してあまり興味を持たなかった経験がある」と書かれています。

我々関係者が協働で、次世代の子どもたちが木にふれて、木に親しむ環境を提供していく積極的な活動を進めていきたいです。

(普及推進課林業普及推進班)

おかやまの森林・林業を支える担い手の確保・育成等について

本県における森林資源は、戦後造成されたヒノキやスギの人工林が本格的な利用期を迎え、大変充実していますが、「伐って・使って・植えて・育てる」という林業のサイクルを循環させ、森林を適正に管理していくためには、優れた担い手の確保・育成が欠かせません。

しかしながら、中核的な担い手である認定事業者では、近年、若者の割合は増加傾向にあるものの、人数は横這いの状態です。また、中山間地域では人口の減少や高齢化が顕著で、身近な地域から担い手を確保していくことは困難な状況にあります。

このため、県では来年度、森林・林業を支える担い手の確保・育成等に向けて、森づくり県民税を活用し、「就業の円滑化」、「事業者の育成」、「事業者の経営基盤強化」を3本柱として、緑の雇用制度や（公財）岡山県林業振興基金（岡山県林業労働力確保支援センター）、市町村とも連携し、「就業促進」と「林業労働力の基盤強化」に重点を置いて取り組むこととしています。

1 就業の円滑化（19,517千円）

事業名	予算額(千円)	事業概要
晴れの国おかやまの林業就業促進事業	8,217	林業就業PR用映像を制作するほか、就業ガイダンスでのIターン等就業希望者への働きかけ、林業体験プログラムの開催など、就業促進のための情報発信を支援する。（事業主体：（公財）岡山県林業振興基金等）
林業インターンシップ促進事業	1,300	林業関係学科の高校生を対象に、林業への就業促進を図るため、高性能林業機械操作等の林業技術に関する教育を実施する。（事業主体：県）
地域林業の担い手サポート事業	10,000	市町村が協議会を設置して行う、担い手確保等に係るビジョンの検討、就業希望者のリクルート及び林業事業者とのマッチング、生活面のサポートなど総合的な取組を支援する。（事業主体：市町村）

2 事業者の育成（12,148千円）

事業名	予算額(千円)	事業概要
林業担い手育成総合対策事業	10,642	新規就業者の職場内研修、技能習得、安全装備の導入など、認定事業者等による担い手対策を総合的に支援する。（事業主体：（公財）岡山県林業振興基金等）
林業労働安全衛生推進事業	1,506	林業労働災害の防止を図るため、巡回指導や実技研修会及び労働安全衛生推進会議を開催する。（事業主体：林災防岡山県支部）

3 事業者の経営基盤強化（11,574千円）

事業名	予算額(千円)	事業概要
森林作業道作設オペレーター育成対策事業	1,725	地域に適した森林作業道の作設を推進するため、作設オペレーター等の育成研修を実施する。（事業主体：県）
林業担い手育成総合対策事業(再掲)	9,849	認定事業者を対象とした森林施業プランナーの育成及び中小企業診断士による経営改善、林退共への加入促進などを支援する。（事業主体：（公財）岡山県林業振興基金等）

予算額合計 43,239千円（おかやま森づくり県民税）

（林政課普及指導班）

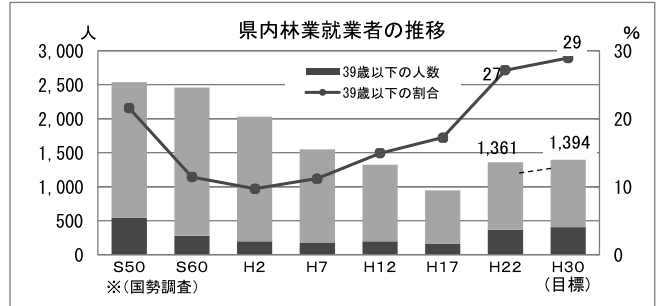
おokayamaの森林・林業を支える担い手対策事業

【現 状】

○スギ・ヒノキ人工林は本格的な利用期が到来



○林業就業者は雇用労務が主体で減少傾向、若者の割合は増加傾向



【課 題】

○森林の適正な管理には、優れた担い手の確保が必要

○不安定な就労条件の改善と労働災害防止

【取組のポイント】

就業促進と林業労働力の基盤強化

【担い手確保・育成の段階的取組】

Step 1 就業の円滑化 ～就業希望者への働きかけ～

- 情報発信等を活用したIターン等の就業促進
- 高性能林業機械等を活用した高校生の就業体験
- 市町村等による担い手対策への支援

Step 2 就業者の育成 ～技術習得のための研修等～

- 新規就業者の職場内研修への支援
- 安全装備等の導入促進
- 労働災害防止のための巡回指導

Step 3 事業体の経営基盤強化 ～技術力の向上等～

- 森林作業道作設オペレーターの養成
- 経営診断等による経営改善
- 退職金共済制度への加入促進



国の施策(緑の雇用)

- 林業作業士研修など

(公財)岡山県林業振興基金 (林業労働力確保支援センター)

- 社会保険料への支援など

連携

認定事業体を中心とした育成・強化
～経営基盤の安定～



技術力の向上
集約化の推進
現場指揮
安全・コスト管理

【期待される効果】

林業生産活動の活性化

労働生産性の向上

雇用の安定



木材の安定供給



※認定事業体-「林業労働力の確保の促進に関する法律」に基づき、雇用管理の改善及び事業の合理化に取り組む事業体

研究だより

『岡山県のシカ事情』

ジビエブームということもあるのでしようが、新聞やテレビで猟師や野生鳥獣被害の話題をよく目にするようになりました。

これらのメディアで取り上げられる被害は、農作物に対することが大部分を占めています。農作物に関係のない山野草や山野の四季を特集した番組でも、シカの食害による衰退の危機を伝える一節を見かけます。

県内ではシカによる森林被害が広まってきており、被害が多い地域で造林をする際には、防護柵を設置することが当たり前のようになってきています。

その一方で被害が確認されていない地域では、関心が低いのが現状です。



図1 市町村アンケート結果(H26)

平成23年度から実施している市町村を対象としたアンケートで、県内のほぼ全域にシカの生息が確認されています(図1)。被害ありは、概ね東備、真庭、津山、勝英地域で、被害なしは倉敷、井笠東部地域で、その他の地域は年によって回答が変わりました。

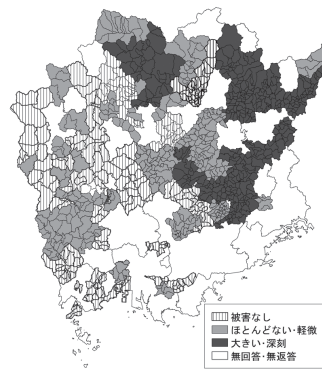


図2 被害状況(駆除班アンケートH26)

有害鳥獣駆除班を対象としたアンケートによると、これらの地域では、軽微な被害と被害なしの地域が点在していることが分かりました(図2)が、すでに被害が出始めている地域も被害が局所的で、しかも軽微であるため、市町村に報告するまでもないと判断しているケースがあると推測されます。

一般的に、田畑や造林地で食害が発生した場合を被害と認識し、雑木林や耕作放棄地等での食害は

気がつかないか被害と認識していないことが多いようです。

被害が目につくようになった時には、すでにある程度の個体数が生息していると考え、早めの対策に努める必要があります。

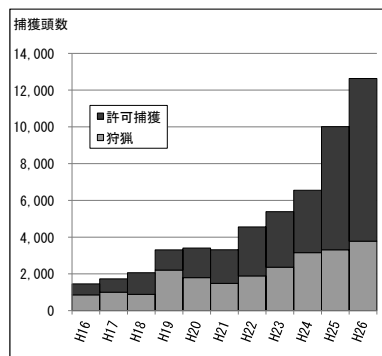


図3 シカ捕獲頭数の推移(自然環境課調べ)

近年、シカの捕獲数が大幅に増加しており、特に、有害鳥獣駆除等、狩猟以外による捕獲の増加は目を見張るものがあります(図3)。

その一方で、被害が確認されている地域は拡大を続けており、被害対策の難しさが窺えます。

生息状況の把握のために実施している、糞塊調査の平成24年と平成27年の結果を比較したところ、シカによる被害が深刻な県北東部で糞塊密度が減少していました(図4、図5)。

他地域と比較すると、糞塊数は多く、被害も深刻な地域ですが、

同地域及びその周辺では活発に捕獲活動が実施され、このことが影響していると考えられます。この

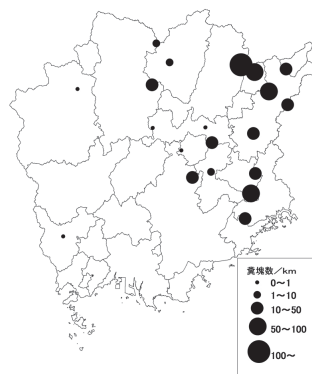


図5 糞塊密度調査結果(H27)

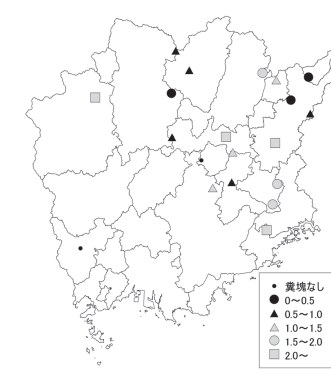


図4 糞塊密度の比較(H27/H24)

ような活動を継続することで、今後被害の軽減に対しても良好な結果につながると考えられます。

現在、効果的な被害対策を目指して研究を進めています。そのひとつとして、効率的な捕獲技術についても技術提案できるように検討中です。

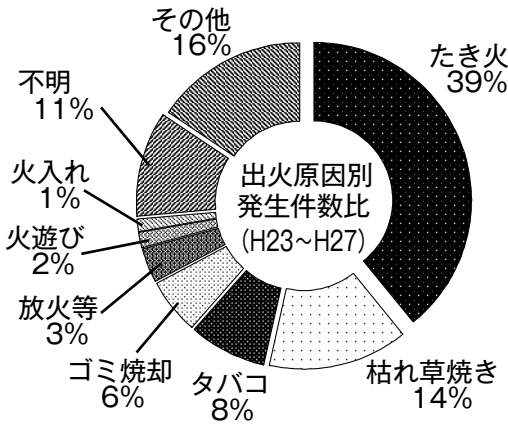
(森林研究所専門研究員 三枝道生)

3月は山火事予防月間です

冬から春先にかけては、空気が乾燥し、風の強い日も多くなることから、山火事が非常に起こりやすくなります。

過去5年間に県内で314件の山火事が発生し、167畝の緑が失われました。その原因は、たき火の不始末、タバコの投げ捨てといった人の不注意によるものがほとんどです。

森林は地球温暖化防止をはじめ、水資源の確保、山崩れの防止など、私たちの生活に欠かせない大切な役割を果たしています。



大切な森林をみんなで守り、未来へと引き継ぎましょう。

今年の標語は『誓います 森の安全 火の始末』です。



※山火事を防ぐ6つのポイント

- 強風・乾燥時はたき火をしない
- たき火の後始末は完全に
- 枯れ草焼きやあぜ焼きなどは一人ではない
- タバコの投げ捨てはしない
- 子供の火遊びはダメ
- 火入れをするときは許可を受けよう

(治山課 造林班)

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
 加入期間は？ 1年単位で何年でも！
 保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約6千万円の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース (1ha あたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
 保険期間…5年 保険金額…最大188万円
 一括払いだと 21,225 円 (5年間計)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
 保険期間…5年 保険金額…最大299万円
 一括払いだと 37,375 円 (5年間計)

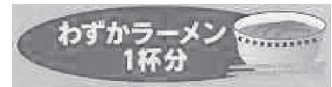
1ヶ月あたり
約 350 円

わずか缶ビール
1本分



1ヶ月あたり
約 620 円

わずかラーメン
1杯分



- 保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。
- 条件によって契約金額が変わってきます。



○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。

技能講習会の開催(4~6月)

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会 場	日 程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山	5月19, 20日	(社)岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571
	津山	6月8, 9日	岡山支部 TEL (086) 221-2160
玉掛け	岡山	4月7, 8日・5月7, 8日・ 5月12, 13日・6月9, 10日	倉敷支部 TEL (086) 422-6230
	和気	4月21, 22日	玉野支部 TEL (0863) 21-2349
	新見	5月23, 24日	児島支部 TEL (086) 473-1811
	笠岡	5月26, 27日	津山支部 TEL (0868) 22-5454
	津山	6月1, 2日	笠岡支部 TEL (0865) 63-3718
	玉野	6月20, 21日	和気支部 TEL (0869) 92-0876
刈払機作業従事者	津山	4月26日	新見支部 TEL (0867) 72-0338
	岡山	5月25日	
	新見	6月3日	
伐木	津山	6月29, 30日	
移動式クレーン運転士		5月12日	中国四国安全衛生技術センター TEL (084) 954-4661
林業架線作業主任者		6月7日	
はい作業主任者	倉敷	5月18, 19日	陸上貨物運送事業労働災害防止 協会岡山県支部 TEL (086) 234-1332

安心と信頼の証を届けます

創業以来、永年に渡り体育器具・遊具を製作してまいりました。地元メーカーとして責任ある製品作りに取り組み、安心と信頼を皆様にお届けします。

日本体操協会器器械具検定工場・日本公園施設業協会認定工場

大久保体育株式会社

OHKUBO

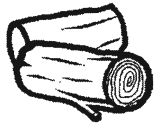
■本 社 〒703-8214 岡山市東区鉄409 TEL(086)279-0585 FAX(086)279-0460
 ■倉敷営業所 〒710-0312 倉敷市藤戸町天城1021-1 TEL(086)428-7576 FAX(086)428-6153
 ■東京営業所 〒201-0003 東京都江戸市和泉本町1-21-1(201) TEL(03)5761-9577 FAX(03)5761-9587



緑あふれる環境づくり

 **株式会社 山 都 屋**

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
 TEL(086)272-2161 FAX(086)272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
 大阪営業所 津山営業所 水島営業所



林産物市況



木 材 (2月26日)

単位：千円/m

樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り	樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り
杉	3m	14～16	10.5	6.5	檜	3m	14～16	22	14
		18～20	10	6.5			18～20	16.5	14
		22～28	12	10			22上	15.5	13
	4m	18～22	10	9～		4m	16～18	19	9～
		24～28	10.5	9～			20～22	16	14
		6m	16～18	15			10	24～28	17
松	3m	18～22	12	8	6m	14～16	23	8～	
	4m	18～22	12	10		18～20	29	8～	
・出荷材積 約 1,300 m ³									
(共販所より概況)									
杉概況：					桧概況				
柱 材 横這い					【3m】 柱 材 強含み				
中目材 横這い					【4m】 柱 材 横這い				
元 木 横這い					中目材 横這い				
松概況：					元 木 強含み				

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製 材 (2月)

単位：円

樹 種	寸 法	等級	区分	安値～高値
ス ギ	正角 3m 10.5cm 角	特等	K	50,000 (直送)～55,000 (市場)
	正角 3m 12cm 角	特等	K	50,000 (直送)～55,000 (市場)
ヒノキ	正角 3m 10.5cm 角	特等	K	55,000 (背割有)～60,000 (背割無)
	正角 3m 12cm 角	特等	K	55,000 (背割有・無)
マ ッ	平角 4m 10.5～12cm×15～18cm	一等	K	75,000
米マツ	正角 3m、4m 10.5cm 角	特等	G	52,000～54,000
	平角 3m、4m 10.5×15～21cm	特等	G	54,000～
北洋アカマツ	タルキ 4m 3.8cm 角	特等	K	70,000～75,000
ホワイトウッド	間柱 3m 2.7cm×10.5cm	特等	K	57,000

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。



CT-500B・GP-532
小型ハイパワープロセッサ



shindaiwa

高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255

<http://www.mitsuyoshi.com/>

サンケイの松くい虫防除薬剤

多目的使用（空中散布・地上散布）ができる

スミパイン[®] 乳剤・MC

頻れる松枯れ防止用散布剤

モリエート[®] SC

ナラ枯れ予防用樹幹注入剤

ウッドキング[®] DASH

伐倒木用くん蒸処理剤

キルパー[®] 40

伐倒木除菌剤

パインサイド[®] S油剤D

樹幹注入剤

グリーンガード[®] ファミリー

お問い合わせは最寄りの県森連・森林組合へ



サンケイ化学株式会社

大阪市淀川区西中島4丁目5番1号 Tel.(06)6305-5871

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕 **コニファー水和剤** 〔幼令樹保護カバー〕 くわんたい

〔樹皮食い防止に〕 **バークガード** 〔野生草食獣食害防止〕 **防獣ネット**

〔クズ専用除草剤〕 **サイトロン・サイトロンフレノック・ケイピンエース**

〔樹幹注入剤〕 **マッケンジー注入剤**

（お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ）

販売元：日植アグリ株式会社

TEL：086-292-5525

大同商事(株)大阪営業所

TEL：06-6231-2819



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助

治山・林道の調査、測量、設計、積算

森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 **岡山県森林協会**

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711

津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360



「緑の募金」 ご協力をお願いします

募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

緑の募金でふせごう地球温暖化

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 **岡山県緑化推進協会**

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

木を通して環境保全に貢献しています



公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

共販日（記念市）のご案内

岡山県森林組合連合会



- 4月19日（火）勝山木材共販所 真庭木青協特別市 開設50周年記念市
- 4月20日（水）津山木材共販所 開設54周年記念市
- 4月22日（金）新見木材共販所 開設52周年記念市

◆各共販所とも多くの出荷をお待ちしております。

6月 3日（金）乾しいたけ春季特市



多数のご出品・ご参加をお願いします。 ※出品締切5月18日（水）
また、岡山県乾しいたけ品評会等の褒賞授与式を7月7日（木）に開催します。



日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

<p>間伐材利用植生基材マット</p> <p>グリーンフォーマット 〔切土軟岩用〕</p>	<p>間伐材利用植生マット</p> <p>森樹郎マット 〔切土土砂用〕</p>	<p>間伐材利用生分解型植生マット</p> <p>森樹郎マット21 〔切土土砂用〕</p>	<p>間伐材利用生分解型植生シート</p> <p>張りウッド 〔盛土用〕</p>	<p>間伐材利用植生シート</p> <p>ハリシバモック 〔盛土用〕</p>
--	--	--	---	---

「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎（シンキロウ）マット工法」

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社

<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>

津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256

岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000

事務局からのお知らせ

事務局では、会員の方からの紙面に対するご意見・ご要望やイベント情報等、身近な話題の投稿をお待ちしております。

また、新規会員も継続して募集しております。

【お問い合わせ・連絡先】

〒700-0824

岡山市北区内山下2-4-6

（岡山県庁林政課内）

岡山県林業改良普及協会

電話 086-226-7451

FAX 086-221-6498

メールアドレス

rinsei@pref.okayama.lg.jp

【編集後記】

・先日、大分県から宮崎県の山間部を車で走っていると、スギ人工林の皆伐↓植栽地が多く目につきました。林業への地域の強い意気込みを感じました。（I）
・1年間ご愛読ありがとうございました。あつという間の1年間でした。来年度も、仕事・私生活ともに、目標を持って頑張ろうと思っています。（M）

林声



県では、「おかやまの森フォトコンテスト」として、県民の皆様へ森林の働きや林業の役割などへの関心を高めていただくため、おかやま森づくり県民税を活用して、「おかやまの森」をテーマにした写真を募集しました。

【募集期間】
平成27年7月16日（木）
～12月15日（火）

【応募状況】

応募作品数 232点
応募者数 101名

【審査会】

日程 平成28年1月19日（火）
場所 県庁第3会議室

【表彰式】

日程 平成28年2月21日（日）
場所 サン・ピーチOKAYAMA
M A

最優秀賞及び優秀賞に入賞した作品の応募者に表彰状を授与し、記念品を贈呈しました。

【展示会】

日程 平成28年2月29日（月）
～3月4日（金）
場所 県庁1階県民室

入賞作品11点を展示しました。

たくさんのご応募をいただき、ありがとうございます。

応募された作品は、県が行う森林・林業を普及啓発するチラシや冊子などに活用することとしています。

なお、特選、入選の作品は県林政課のホームページに掲載いたしますので、是非、ご覧下さい。

【岡山県林政課HP】

<http://www.pref.okayama.jp/page/460662.html>

（林政課 普及指導班）

最優秀賞（岡山県知事賞）

みんなで作る木のベンチ	竹田 俊亮 様（備前市）
-------------	--------------

優秀賞（岡山県森林組合連合会長賞）

鏡野古道	松上 修 様（岡山市）
------	-------------

優秀賞（岡山県木材組合連合会長賞）

どンドン行こう	藤川 達也 様（西粟倉村）
---------	---------------

特選

キレイな銀杏の木の下で♪	片山 杏里 様（吉備中央町）
ミストたつぷり	鳥越 秀美 様（岡山市）
森の教室	長井 美緒 様（西粟倉村）
木登りーズ	笹舘 英子 様（倉敷市）

入選

フルスロツトル	斉藤 純一 様（津山市）
きったどおー	長尾 憲司 様（新見市）
大木に育てて下さい	河口 毅 様（岡山市）
サンタクロースも木のプールがお気に入り。	宗安 敬子 様（津山市）

優秀賞「どンドン行こう」



優秀賞「鏡野古道」



編集 発行 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会
〒700-8750 岡山市北区内山下二一四一六



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。（間伐材10%+古紙70%）

R70